



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/>

学校だより 10月号
令和2年9月30日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

成長楽しみな秋

校長 松永 淳子

朝晩と涼しくなり、秋がやってきたことが感じられる頃になりました。子どもたちもWBGT（暑さ指数を示すものです）の数値を気にすることなく、体育の学習を行えるようになりました。それでも1時間学習を終えると真っ赤な顔をして教室に戻っていきます。これからが秋本番、学習、運動、読書にと集中して取り組める季節です。10月は、前期学習のまとめを行い、後期の学習に進んでいく月でもあります。令和2年度は変則的なスタートとなった学校生活でしたが、お陰様で子どもたちの学習も順調に進み、瀬戸ヶ谷小学校では学習の実りの多い秋となりそうです。

さて、9月の学級懇談会の時、各学級の担任よりお話をさせていただきましたが、「あゆみ」の表記が変わります。これは、今年度から学習指導要領が改訂され、それに伴って評価の観点も変わったためです。新学習指導要領では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」という資質・能力の三つの柱に基づき、各教科の目標や内容が整理されました。併せて、観点別学習状況の評価の観点についてもこの三つの柱に基づき「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理され示されました。変化の激しい社会の中で生きていく子どもたちにとって、どのような力を育てていくかということ認識し、今までやってきたことを引き次ぐと同時に、新しい視点を持ち日々の授業に繋げていくことが求められています。

保護者の皆様も「主体的・対話的で深い学び」という文言を聞いたことがあるのではないのでしょうか。これは、このような視点に立った授業改善を行うことで、学校教育において質の高い学びを実現し、子どもたちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学びつづけることができる力を育てていくということです。瀬戸ヶ谷小学校でもこれらの視点に立った授業改善を行い、子どもたちに三つの柱に基づいた力が育つよう努めています。

学習の中心には子どもたちが存在します。その子どもたちが、主体的に粘り強く課題に取り組めるよう指導してまいります。コロナ禍という中での学校生活です。活動に制限はありますが、創意・工夫を凝らしながら、日々できることに粛々と取り組んでいきたいと考えております。また、学校行事では、変更を余儀なくされていることがありますが、一つひとつの活動を大切に、充実したものとなるよう子どもたちと共に考え進めてまいります。全校遠足も今年は密を避けて実施するために「45周年記念、全校ペアオリエンテーリング」として行いました。2日間3グループに分かれて行いましたが、子どもたちのアイデアは素晴らしく、高学年の子どもたちのリーダーシップの元無事終えることができました。久しぶりの校外学習で、みんな充実した楽しい時間を過ごすことができました。

前期終了式の10月9日（金）には、ここまでの学習について記された「あゆみ」をお子さんにお渡しいたします。各担任から一人ひとりの子どもたちに、がんばったことやこれからの課題となることなどについて話をしながら渡します。ご家庭でも子どもたちが自らの学習について振り返り、後期の学習に意欲的に取り組めるよう話し合ってください、元気に子どもたちが10月12日（月）に登校できますようご支援ご協力よろしくお願いいたします。